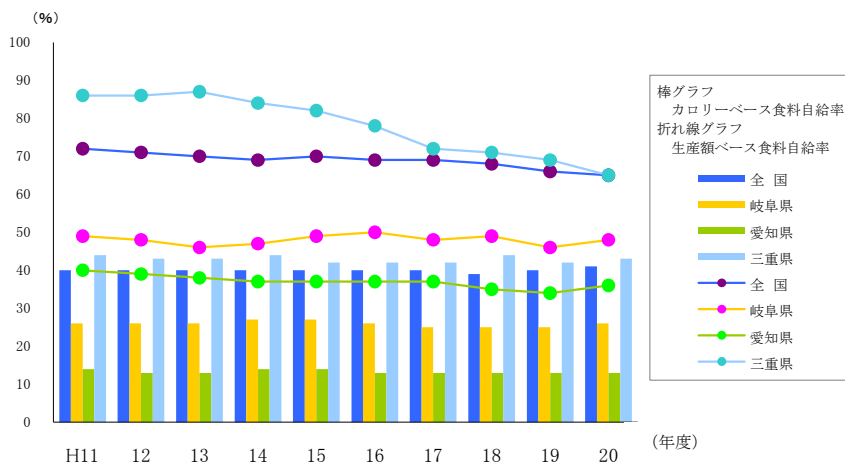


東海地域の食料自給率

● 県別の食料自給率



資料：農林水産省「食料需給表」、「作物統計」、「生産農業所得統計」等を基に農林水産省で試算。

注：県別の食料自給率は、地域で生産された農産物等がすべて地場産食料として地域内に供給されていることなど一定の前提をおいた試算であり、①各県の消費実態を的確に反映したものでなく、②各県で自県産がどの程度実際に消費されたかを示したものではありません。

平成20年度の県別カロリーベース食料自給率は概算値。

平成20年度（概算値）の都道府県別のカロリーベース食料自給率は、愛知県が13%で前年度と同率でしたが、岐阜県26%、三重県43%は昨年度から1%増加しました。増加要因は、小麦・大豆の生産量が増加したことによります。

岐阜県は、農業生産条件が不利な中山間地域の割合が高いこと、愛知県は、農業生産額が全国第7位の農業生産県ですが、人口が集中する大都市を抱えていることや野菜や花きといった園芸作物の生産ウェイトが高いことから、全国値より低くなっています。三重県が全国値を上回っている要因は、米・魚介類によります。

都道府県別食料自給率については、各地域の自然・社会・経済的な諸条件が異なっていることから、その水準を各都道府県間で単純に比較できるものではありませんが、このような各都道府県における食料自給率向上に向けた積極的な取組を推進するための重要なツールであり、各地域での積極的な活用が期待されています。